



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

# 佐土原ロータリークラブ週報

ROTARY 2000:  
ACT WITH  
CONSISTENCY  
CREDIBILITY  
CONTINUITY



ロータリー2000:  
活動は-堅実、  
信望、持続

1999~2000年度 国際ロータリーのテーマ

第642回 平成12年 5月24日(水)

### 〔本日のプログラム〕

- |                  |   |
|------------------|---|
| 1. 点             | 鐘 |
| 2. ロータリーソング      |   |
| 「それこそローター」       |   |
| 3. 食             | 事 |
| 4. 会長の時間         |   |
| 5. 幹事報告          |   |
| 6. 委員会報告         |   |
| 7. 次年度各委員会活動方針発表 |   |
| 8. 点             | 鐘 |

- 次回予告
- ★ 5月31日(水)  
次年度各委員会活動方針発表
- ★ 6月7日(水)  
会員卓話  
加藤 仙之君  
6月セレモニー  
理事・役員会

### 佐土原ロータリークラブ

例会日	毎週水曜日(12:30~13:30)	会長	福井 輝文
例会場	石崎浜荘 ☎0985-73-1913	副会長	梶田與之助
事務局	宮崎県佐土原町大字下郷阿3887-17	幹事	恒吉 正志
	☎880-0212	会計	林 厚雄
	TEL及びFAX 0985-73-7170	会報委員	池田 仁志

第641回例会記録  
(2000. 5. 17)

☆会長の時間

会長 福井 輝文 君

皆様 今日は  
第641回の例会です。

本日はやっと、どうか天気に恵まれ、私年度で計画しました、「ロータリーの花壇」創りの作業が、3週間目で実行出来ました。

色々準備やら、奉仕等して頂きました皆様にお礼を申し上げます。

記念写真も撮りました。

柳田会員による、立派な御影石の記念碑も立ちました。

佐土原ロータリークラブが存続する限り、皆で守り育てて行きたいものと思います。

あと少し作業が残っていますので、例会後、続行します。

5月13~14日地区協議会に参加いただきました皆様、本当にご苦労さまでした13日の親睦ゴルフ、そして懇親会、和気あいあいとして、楽しいものでした。

これも、私年度の努力目標【親睦】を少し達成したものと思っています。

今、巷で次から次へと起きている青少年による犯罪、これも人と人とのつながり、コミュニケーションの不足から発生する事が多いのではないのでしょうか。

その意味からも、親しく人の心を理解出来る【親睦】は大事なことだと思っています。

経済界でも各分野での合併、技術提携

の話題が、次々と出て来るようです。

景気は上向きとは言われておりますがまだまだ低迷、目まぐるしい世の中について行く為の頭の回転が大変です。

皆様は如何ですか。

ロータリアンとして、1市町民として、なにを成すべきか…を問いつつ生きていきたいと思います。

☆幹事報告

幹事 恒吉 正志 君

本日はお忙しい所を、朝早くから、花壇創り、ご苦労さまでした。

何とか作業が出来ましてホッとしております。

例会変更通知

1. 5月22日(月)は「夜間例会」の為  
時間 18:30 ~  
場所 龍淵 岡田 に変更  
宮崎東 RC
2. 5月25日(木)は「職場訪問」の為  
時間 9:45 ~  
場所 宮崎県立養護学校 に変更  
宮崎中央RC
3. 5月26日(金)は「夜間懇親会」の  
為、時間 18:00 ~  
場所 ホテル浜荘 に変更  
宮崎西 RC
4. 5月29日(月)は「職場訪問例会」  
の為、時間 12:30 ~  
場所 宮崎立看護大学 に変更  
宮崎東 RC

---

### ☆出席報告

委員長 柳田光寛君

---

会 員 数	28名
例 会 出 席 者	23名
出 席 率	82%
メ-クア-ッブ者数	3名
修 正 出 席 率	93%
欠 席 者 名	#(単). 館時.

本日は大変出席率がよいようです。  
これからも、こんな状態を続けたい  
と思います。 皆さん！頑張りましょう。

---

### ☆親睦委員会

委員長 吉田康一郎君

先週は新会員の歓迎会及びライラ参加  
の青年達の紹介会、大いに盛り上がりま  
して、大変有り難うございました。

3名の青年たちとの交流もでき、5月  
27日のライラに向けて準備が整ったよ  
うに感じております。

当日の宴会の費用が¥96,525でした。  
我々会員の参加が22名でしたので、1人  
当たり¥4,387 になります。

¥4,500 ずつ徴収しまして、差額はハ  
ッピーとさせていただきます。

次回集金致します。ご協力お願いしま  
す。

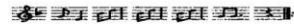
又、5月13-14日開催されました、地  
区協議会に参加された皆さん、本当にご  
苦労さまでした。

くまカントリーで行われました、我々  
のクラブの親睦ゴルフ、久しぶりの場所

でのプレー…。 大自然を味わいな  
がらのプレーは、とても良い思い出にな  
りました

そして、夜の懇親会は、老舗旅館『す  
いらん楼』にて行い、これも大変賑やか  
に盛り上がり、皆さんとの親睦の機会に  
なったと思っております。

ありがとうございました。



### Happy Voice

誕生日をお祝い頂き、ありがとうござ  
いました。色々あった年でしたが、今年  
も体に気を付けて、頑張りたいと思っ  
ております。

藤堂真由美

結婚のお祝い、有り難うございます。  
入会したばかりで、顔と名前がなかなか  
分からない人もおります。

早く覚えて、皆さんの仲間入りをさせ  
て頂きたいと思います。

太田 忍



## 今、最も尊敬する人

佐藤 愛子

(抜粋 58頁)

あなたが今、最も尊敬する人は？ と訊かれた時、これまでの私は答に迷ったものだったが、今は迷わずに答えることが出来る。

「それは河野義行さんです」と。

河野義行さんは松本サリン事件の被害者で、サリンの発生を最初に通報した人である。そのためか河野さんは警察によって犯人の疑いを受けた。

そしてマスメディアによって恰(はか)も真犯人であるかのような報道に晒された。「あの報道を見た限り、みんなそれを信じたと思いますよ。私も信じました」と言う人が少なくない。だが自慢するわけではないが、私は信じなかった。といっても河野さん犯人説を否定する論拠があったからではない。

否定も肯定もしない。「保留」という気持だった。

これは私のマスコミ報道への基本的な姿勢である。

神戸の中学生の少年殺害事件の時も、学校の先生が暴力を振ったという報道が一人歩きして、校長がいくら否定しても馬耳東風、マスコミは学校批判に狂奔した。後に全てが明らかになった時、マスコミはどうしたか。弁解したのならどんなふうにしたのか知りたかったが、春のドカ雪のようにあっさり消えてしまった。

そういう例は幾つもある。

\*

さて三月四日、東京地裁で開かれたオウム真理教元幹部の公判で、河野さんは証言台に立った。

朝日新聞はこう報道している。

「(河野さんは)あるとき、自分が警察やマスコミによってどのように扱われていたかについて自分から何も触れようとしなかった。犯人らへの恨みも処罰を求める言葉もなく今なお意識不明の妻について語り被害者救済の法律を訴え」と。

人の真価は思わぬ災厄に遭遇した時に現れるものである。

河野さんは突然ふりかかってきた災難をじっと受け止め、愚痴らず怒らずノイローゼにもならず、静かな忍耐の日々を重ねた。

「静かな忍耐の日々」などと他人だから簡単にいえるが、一朝一夕に出来ることではない。耐え難きを耐え忍び難きを忍ぶことによって強靱な精神力が培われたのか、それとも元来ものに動じぬ資質の人だったのか、いずれにせよその精神力の強さはあの時の世情を記憶している人なら皆わかるはずである。

まことの偉人とは不幸を受け止めることによって己を磨く人だ。河野さんによって私は改めてそう教えられた。

(中略)

自尊心も向上心も克己心も根絶やしになりつつあるこの日本で、河野さんの沈黙に私は深く頭を下げずにはいられない。

この人一人いるだけで、まだ日本は捨てたものではないという希望が湧いてくるのである。

河野さん、ありがとう。

(少し、古い記事かもしれませんが、とても打たれる文章でしたので、掲載しました。 佐藤)